



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いたします。



今月号のトピックス

▶ 国際フェアレポート ▶ Chika のインドネシア体験記No.31 ▶ 協会からのお知らせ



12/10開催 国際フェア in はなまき 2023  
@なはんプラザ

青少年海外派遣研修報告会

4年ぶりに再開した海外派遣から帰国した中高生の報告会をしました。MC の柏葉公平さんの進行で、派遣先ごとに壇上で発表しました。同じ派遣先でも心に残ったエピソード、感じたことなどが違っていました。各都市から 1 名ずつ紹介します。

【アメリカ合衆国ホットスプリング市】

ファーストフードを食べる機会が多く、給食はなくカフェテリアで昼食を食べたそうです。カフェテリアのメニューは、ハンバーガー・フライドチキン・ピザなどいくつかあり好きな物を選んで食べるスタイルだったそうです。

【オーストリア共和国ベルンドルフ市】

シュテファン大聖堂について話してくれました。その建物は、モーツアルトの結婚式や葬儀が行われた聖堂としても有名なそうで、ハリーポッターの世界観にいるような気持ちになったそうです。また見学した日が曇りで、よりハリーポッターのホグワーツ魔法学校にいるように感じられてワクワクしたそうです。

【アメリカ合衆国クリントン村】

植物好きなのを知って植物園に連れて行ってくれたこと。そこには「花」「砂漠」「熱帯雨林」の 3 つのドームに分かれ、初めての植物を見ることができたそうです。驚いたのは身長より高いサボテン。食虫植物の観察や現地で見られない植物の多さに衝撃を受けたそうです。

【アメリカ合衆国ラットランド市】

ディアリーブハイクについて話してくれました。雪が積もっていて寒かったこと・雪合戦をしながら登ったこと・登り切った時の感動が忘れられないそうです。





それぞれの発表の後、柏葉さんと会場から質問がありました。ホットスプリングス市派遣生には「滞在中に米をたべましたか？」と聞かれ「食べていません」と答えましたが、柏葉さんから「スクリーンに映っているのはご飯では」と。「すっぱい味でべちゃべちゃしていたのでご飯だとは思えなかった」との答えでした。国によって、お米にも炊く・蒸す・炒めるなどさまざまな調理法があることを知ってもらえて良かったです。

ベルンドルフ市派遣生には「ホストファミリーの家ではどんなお手伝いをしていたか」と聞かれ「家で飼っているニワトリの餌やりと朝食の手伝い」と答えました。何十羽もニワトリを飼っているそうです。ホームステイの約1週間の短い間に派遣生は家族の一員になったと感じられました。

国際フェアの発表からは、初めて会った6月の頃より自信を持って話す姿から、派遣中学生と高校生の大きな成長を感じることができました。

Great job on your presentations



### 講演

第1部は「花巻市の多文化共生についてもっと知ろう!」と題して、花巻市の国際交流室葛山上席主査より花巻市の状況と取り組みについて説明がありました。第2部は「やさしい日本語で多文化共生の地域づくり」と題して、(公財) 仙台観光国際協会須藤伸子氏よりやさしい日本語を題材にお話しして頂きました。実践編として8名の外国人市民の方にご協力頂き、やさしい日本語を使って会場の参加者と会話練習をしました。タイ・ベトナム・ミャンマー語で名前を書いてもらい、LINEのアイコンにして喜び参加者も。第3部は須藤氏が3名の外国人市民にインタビューを行いました。皆さん緊張の様子もなく堂々と話されていました。この講演を通して、英語が母語ではない外国人市民が多いことを知っていただき、「やさしい日本語」を使うきっかけになって欲しいと思います。



## ミュージック

盛岡出身の岡垣亮我さんのギター演奏から始まりました。ギター1本だけでメロディーと伴奏を同時に弾き、バラエティ豊かな音を奏でていました。またやさしく心が落ち着く音色でした。次は花巻で活動しているPsychic Homiesによる演奏でした。5人メンバーのバンドで演奏するロックの音楽はリズムカルで、体を動かしている方も見られました。その音にひかれて国際フェアに立ち寄ってくれた人も多くいました。



## くろうん・しゅがー氏のバルーンアート&読み聞かせ

今回の1番人気ブースで、子供たちが沢山集まっていました。聞けば一度くろうん・しゅがーさんに会ったことがあり「もう一度会いたい!!」と熱い思いをもって遊びに来てくれた小学生もちらほら。ウクレレ演奏の客寄せから始まり、絵本の読み聞かせやオリジナルソングでしょうか?歌やバルーンアートなど…沢山の楽しみで子供たちをとりこにしていました。バルーンの剣で子供と真剣に遊んでいる様子を見ていてとても心が温くなるものでした。またお会いできるのを楽しみにしています。



## ピックルボール

ホットスプリングス市との姉妹都市提携30周年を記念して、花巻市民訪問団がホットスプリングス市を訪れた際に企業見学を行い、ピックルボールの紹介を受けました。訪問先の「タナーズ」社からラケットとボールを贈呈していただいたので、ぜひ国際フェアでもみなさんにこの楽しいスポーツを体験してもらいたいと思い、体験コーナーを設置することにしました。ピックルボール体験コーナーは子供から大人まで大人気で、つねにボレーしている音が聞こえました。来年も実施する予定ですのでご期待ください。



## 「思い切って飛び出せば2」

多田の青年海外協力隊の大先輩である笹川泰利さんをお呼びしました。相変わらずの軽快なトークに観客の皆さんはあっという間に引き込まれました。

ドミニカ共和国で活動していたときに、警察に連行されてしまったことがあるそうですが警察官につたないスペイン語で話しかけたらあっという間に仲良くなって釈放されたそうです。相手の国の言葉で話すことが相手との距離を縮めると話をしてくれました。





# Chika のインドネシア体験記

たいけんき



## しまからしまへ② ジャワ島編

お世話になっていた調整員が任期を終えるので、見送りついでにジャワ島横断ツアーにでかけました。調整員の家を拠点と一緒に旅行を楽しみました。バスで2時間ほどのバンドンへ行って爆買いを楽しみました。バンドンには工場がたくさんあってアウトレットが多く買い物に最適な町です。掘り出し物が沢山ありますがその分偽物もいっぱい。ジャカルタでは市内を散策しました。調整員を見送った後は飛行機でジョグジャカルタへ。この時はレバランだったので飛行機がいつもの倍の値段！しかも正規窓口で購入したのにもかかわらずぼったくりに遭ってしまいました。

同期隊員の家でゆったりと数日過ごしてからスラバヤへ移動。しかし飛行機が取れず夜行バスで行くことになりました。日本人の女の子が一人で可哀そうと特別待遇の席を用意してくれました。特別待遇、、それは冷房ガンガン。芯から冷えた上に素晴らしい運転さばきに私の体調は最悪マックス。休憩所に着くたびにトイレに駆け込み嘔吐。バスの中で吐かなかった私は本当に偉い(笑)。フラフラの状態で親戚の待つスラバヤに到着しました。

ホームのボアレモに着いた私はボロボロ状態、おかげで2日間ほど寝込みました。そして過保護のママとパパから当分の旅行禁止令が出たのでした。

## Chika プロフィール

現在(公財)花巻国際交流協会スタッフとして勤務  
2010年~2012年までの2年間インドネシア共和国グロンタロ州ボアレモ県に栄養士隊員として派遣される。  
首都ジャカルタよりボアレモ県まで直線距離で約2,300km。ジャカルタから飛行機で(約3時間)→ミニバスに乗り換え(約3時間)→ボアレモ県に到着



調整員のお勧めローカルレストラン。柔らかく煮込んだ牛を骨ごとしゃぶりつく。お好みでサンバルとライムを入れて。



## 協会スタッフの独り言

クリスマスに着たUgly Sweater☆午後になると他の職員は休暇のため私(多田)だけ。ハロウィンで鍛えた鋼の心で乗り切りました。2023年は4年振りの姉妹都市事業が再開になり、あーっという間の1年でした。2024年はもっと楽しんで仕事できるように頑張りたいな~

## 問合せ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1  
TEL: 0198-26-5833 FAX: 0198-26-5855  
E-MAIL: kokusai\_staff\_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp  
ホームページ: <http://hanakokusai.wordpress.com>  
開館時間: 8:30~17:15 (土日祝祭日、年末年始は休業)

